

層間変形角が最大になる地震力の作用角度

本プログラムの説明

- 物件の各階で層間変形角が最大になる地震力の作用角度 θ ($-45^\circ \leq \theta < 45^\circ$)を求め、結果をCSVファイルに出力することができます。

本プログラムの実行方法

1. パラメーター設定

EQ_Angle.py ファイルのmain関数の引数を編集して必要なパラメーターを設定します。

変数名	説明	デフォルト
version	『SS7』のバージョン "None"で最新バージョンでの処理になります。	"1.1.1.20"
folder_path	物件データのパス	r"C:\UsrData\Ss7Data\TEST.ikn"
angle	解析する地震力の区切り角度	"5"

2. プログラム実行

コマンドラインからプログラムを実行することで、指定された条件での解析が開始されます。

例) C:に「example」というフォルダ名で配置する場合

```
cd C:\example\src
python EQ_Angle.py
```

3. 結果の確認

結果は物件データと同じフォルダ内に `フォルダ名 + _result.csv` で保存されます。

注意事項

- 本プログラムは『SS7』Ver1.1.1.20で動作確認を行いました。
- angleを小さく設定すると解析回数が増え、処理時間が長くなることがあります。

『Op.Python実行』の設定手順

Ss7Pythonライブラリを使用するための設定手順です。

- 『SS7』を起動し、[ツール - 環境設定 - Op.Python実行]画面を表示します。
- “利用可能なPython言語のバージョン”を選択し、[デスクトップへコピー]ボタンをクリックします。
- デスクトップにある「Python」フォルダごと、「src」フォルダにコピーします。

著作者

Copyright (C) 2024 UNION SYSTEM Inc.

ライセンス

本プログラムは MIT License に基づいています。「LICENSE」を確認してください。